

<http://www.jica.go.jp>

「もしり」とは、アイヌ語で大地の意味。
北の大地から、国際協力の「今」を伝えます。

世界のこと、
もっと知りたい!



JAGA 77.8Mhz
エフエムおびひろ

HELLO! (ハロージャイカフェステーション)
JICAFE STATION

JICA北海道(帯広)
帯広市西20条南6丁目1-2
TEL. 0155-35-1210(代表)

第2・第4土曜日
絶賛放送中!!



DJ mihoさんより
メッセージ♪

JAGA 77.8Mhz

Q1:Hello! JICAFEの魅力は?

地域密着型ラジオだからこそその身近な話題が多く、行ってみようと思ったらすぐに行けたり、参加できることですね。ゲストの皆さんには帯広に滞在しているので、ラジオに出演してくれた世界各国から来日している研修員の皆さんに会いに行くこともできる!ニュースで聞くような難しそうな内容も、JICA北海道(帯広)の話題を通して聴くと急に身近に感じられるようになりますよ。

Q2:印象に残っている出来事は?

毎年7月上旬に開催される恒例のイベント「世界のともだち」では、研修員の皆さんの笑顔が見られて楽しかったです。留学生たちがカラオケやダンスを披露してくれたり、自国の文化を紹介したりするだけでなく、日本の文化も楽しむという相互理解を深める時間でもあります。研修員の皆さんには自国紹介クイズを出して

くれたり、頭の上に物を載せて運ぶゲームをしたり、子どもたちの交流が微笑ましく、まさに「世界のともだち」を実感できました。それにしても、アフリカ出身の皆さんのが頭に物を載せて運ぶスピードの速さは圧巻でしたよ!

Q3:思い出に残っているゲストは?

毎回、個性豊かな研修員の皆さんに会えることが楽しみです。放送終了後には緊張も解けて、最高の笑顔で写真撮影。とても良い時間です。実は一番行ってみたいのはカリブ海に浮かぶ島国「セントルシア」。私も番組を通して知った国だからです。

Q4:Hello! JICAFEを通じてリスナーに伝えたいことは?

JICAのことはもちろん、紹介した国やイベントに行ってみたいと思わせる番組にしたいです!百聞は一見にしかず。JICA北海道(帯広)のイベントはもちろん、途上国にも実際に行っちゃおうと思う十勝人が増えたら嬉しいですね!そして、JICAのお仕事にも興味持ってくれる人が増えると良いと思います。

JICA北海道(帯広)新スタッフ紹介

JICA北海道(帯広)代表 沢田博美(写真左)

帯広に来る前は、モンゴルに3年7ヶ月いました。1月のモンゴルは、マイナス30度以下になることもあったので、帯広は暖かく感じます。気温だけではなく、こちらに来てから、地域の多くの方々に暖かく接していただき、感謝申し上げます。皆さんと一緒に、途上国からの研修員受け入れや交流事業、途上国でのプロジェクトや調査を行うことを、楽しみにしています。「道東地域における世界への扉」としての役割を果たすべく、今年は特に、研修員の学校訪問や講演、イベントに力を入れていきたいと思います。皆さん、楽しみにしていてくださいね!

JICA北海道(帯広)副代表 高野晋太郎(写真右)

名古屋、ウガンダ、東京を経て、帯広に着任しました。今年は第7回アフリカ開発会議(TICAD7)が行われます。アフリカの発展に貢献すると同時に、キルギス、マレーシア、ミャンマー等とも地域の皆様をつなげていきます!



facebookページ

「いいね!」700人達成!

JICA北海道(帯広)では、海外からの研修員の学びの様子や、国際協力に関するイベント情報、センターを囲む自然の四季折々の表情を発信しています。たくさんの「いいね!」をお待ちしています!

